

THE SAISON FOUNDATION

公益財団法人セゾン文化財団

セゾン・アーティスト・イン・レジデンス、ヴィジティング・フェローの紹介

セゾン・アーティスト・イン・レジデンスでは、インドネシアのジョグジャカルタを拠点に活動するダンス・ドラマトウルク、プログラマー、ライターのニア・アグスティナ氏をお迎えいたします。

ニア・アグスティナ氏は2014年に「[Paradance Platform](#)」を設立し、以降の活動を通じて、インドネシアのダンスシーンにおける若手実践者の育成や批評プラットフォームの運営などに取り組んできました。アグスティナ氏の活動の核には、振付家と「ドラマトウルクであり、友人である(dramaturg-friend)」という親密な関係を築きながら創作に寄り添う姿勢があります。2020年には国際交流基金アジアセンターのフェローとして来日し、日本の若手アーティストのためのプラットフォームを調査しました。

今回の滞在では、そのリサーチをさらに深化させ、「ダンスにおける『Support』を再定義する——Being Present, Being Human」というテーマを掲げます。日本のアーティストやキュレーター、プロデューサーらとの対話、パフォーマンスの観劇、アーティストが集まる拠点への訪問を通じて、単なる制度としての支援に留まらない、人間として「ともにいること(Being Present)」に基づいたサポートのあり方を探求します。

本リサーチを通じて、日本の舞台芸術のエコシステムへの理解を深めるとともに、将来的な国際協力や対話の可能性を見出すことを目指します。滞在期間中、舞台芸術関係者の皆様との交流を予定しておりますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 滞在テーマ ダンスにおける「Support」を再定義する——Being Present, Being Human
- 滞在期間 2026年2月3日(火)－3月3日(火)
- 滞在場所 森下スタジオ(東京都江東区森下3-5-6)

※ 2026年2月25日(水)に、森下スタジオでトークを開催する予定です。

詳細はウェブサイトで発表します。



ニア・アグスティナ／Nia Agustina (インドネシア)

ダンス・ドラマトウルク、プログラマー、ライター

インドネシア・ジョグジャカルタ在住。2014年に「[Paradance Platform](#)」を設立し、若手アーティストの育成に尽力。2016年から2024年までインドネシア・ダンス・フェスティバル(IDF)の共同キュレーターを務めるほか、2017年には舞台芸術批評プラットフォーム「[gelaran.id](#)」を共同設立した。国際的には、シンガポールのCentre42による「東南アジア・クリティカル・エコロジーズ・レジデンス」(2021年)や、IETM グローバル・コネクター・プログラム(2021-2022年)に参加。2024年にはスイスのチューリヒ・シアター・スペクタケルにてZKB賞の審査員を務めるなど、アジアと欧州を繋ぐ活動を展開している。ジョグジャカルタ州立大学にて数学教育の修士号を取得(2015年)。2015年より継続的にジェンダー平等とインクルーシビティ(包摂性)に関する言説に携わってきた経験が、舞台芸術における彼女の実践に大きな影響を与えていている。

公益財団法人セゾン文化財団

〒135-0004 東京都江東区森下3丁目5番6号 TEL 03-3535-5566 / FAX 03-3535-5565